



地域ぐるみの福祉・健康のまちづくりプロジェクトについて

～ 子育て支援ネットワークの充実 ～

1 子育て支援の現状と課題

近年、少子化や核家族化が急速に進む中、子育ての孤立化や子どもに関する理解の不足などから、育児に悩みや不安を持つ保護者が増加し、養育力の低下が指摘されるなど、子育ての環境が変化してきている。

このような中、子どもと家庭をめぐる課題の多様化・複雑化に伴い、個々の家庭ニーズを把握し、地域のさまざまな関係機関との連携を図りながら、必要な家庭支援・援助を行うことが望まれている。

安心して子育てしやすい環境づくりを進めるためには、特に、地域全体で子育て家庭を支える体制の充実を図ること、子育て家庭に対して保健・医療・教育・福祉など総合的な支援が提供できるよう行政を含めた支援ネットワークの強化を図ることが重要であると考えており、現在策定中の「高岡市次世代育成支援行動計画（後期計画）」に掲げる他の施策と併せて、以下の取り組みを進めていきたい。

2 地域の子育て支援機能の充実

地域住民が子育てへの関心を高め理解を深め、地域の子育て力の向上を図るため、様々な地域の子育ての資源を掘り起こし、連携し、適材適所で取り組む。

地域の子育て親子の交流の場づくり

・保育所子育てサロンにおいて、親子の手作り絵本の作成や紙芝居の作成、親と子の食育セミナーなどを開催し、各地域での親子でのふれあいや様々な人との出会い、地域の仲間づくりを促進する。

地域の子育て支援活動の強化

・子育て支援センターが、地域の母子保健推進員・食生活改善推進員・ヘルスボランティアなどと協力しながら、育児教室等の実施回数を増やすなど子育て支援の活動を強化する。

地域の児童健全育成団体による児童館・児童センターの運営

・地域の児童健全育成団体等で構成された管理会による運営により、地域のニーズに合わせた柔軟な運営や地域事業と連携した事業の企画・運営を行い、子ども達が地域を愛する心を醸成する。

地域の子育て力の向上

・地域の子育てサポーターとしてのボランティア団体や個人が実施する事業等を、把握し共有化を図ることにより、その連携を強化する。

3 子育て支援センター機能の充実

子育てに関する総合的な相談の窓口として、地域における子育て支援の情報を共有し、きめ細やかな子育て支援を効果的・効率的に行うため、子育て支援センターの機能充実を図る。

高岡市子育て支援センター

福岡子育て支援センター

子育て支援室「あいあいハウス」

相談体制の充実

・職員を、子育て支援コーディネーターとして位置づけ、子育て世代の多様なニーズを把握し、これまで培ってきた保健・医療・教育・福祉などとのネットワークを強化し、サービスの利用調整等を行う。

市内の子育て支援に関する民間も含む諸活動・事業間の連携を図るとともに、市内の子育て支援の「地域力」を総合的に高めていくための「子育て総合支援センター」としての機能を果たす。

支援センターを「親子の居場所」と「個別の相談」を別々の機能として捉えず、二つの機能を同時並行的に実施する場とする。

各専門機関・人との関係を日常的な関係性の中で構築し、相談内容によっては、しるべき専門の機関や人につなぐ。

情報提供の充実

・子育て世代の多様なニーズに応じた情報提供を行う。
・子育てに関する「子育て支援ポータルサイト」や「子育て支援ハンドブック」などにより、幅広い情報提供を行う。

各施設との連携

・高岡市子育て支援センターを拠点に、福岡子育て支援センターや児童館・児童センターの子育て支援室、市内の保育所の子育てサロンをサテライト施設と位置付け、子育てに関する情報交換及び連携を図る。

子育てボランティアの活用

・高齢者ボランティアを、遊びの伝承者として育児教室や行事等において活用する。
・中高生のボランティアの活動の場を提供し、中高生が「いのち」の大切さに触れ、子どもを産み育てることへの意義や家族の絆の大切さを自然に習得し、子どもを育てたい、育児は楽しいなどの喜びを感じるよう「将来の親」を育成する。

担当：福祉保健部児童育成課 20-1380（内線 514）